

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月30日

計画の名称	門真市公共下水道事業計画(重点計画)												
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	門真市												
計画の目標	快適に暮らせる生活基盤の整備を進めるため、中部排水区の主要な管渠の整備を目指す。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,620	A	3,620	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	公共下水道における下水道整備人口普及率を85.9%(H27)から94.2%(H31)に増加させる。			
	公共下水道における下水道整備人口普及率	86%	92%	94%
	下水道整備区域内人口(人)/行政人口(人)(人口124,111人)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	門真市	直接	門真市	管渠（ 合流）	新設	中部排水区管渠築造工事	Φ1500mm～Φ350mm L=7,600m	門真市	■	■	■	■	■	3,620	—	
											小計						3,620		
											合計						3,620		

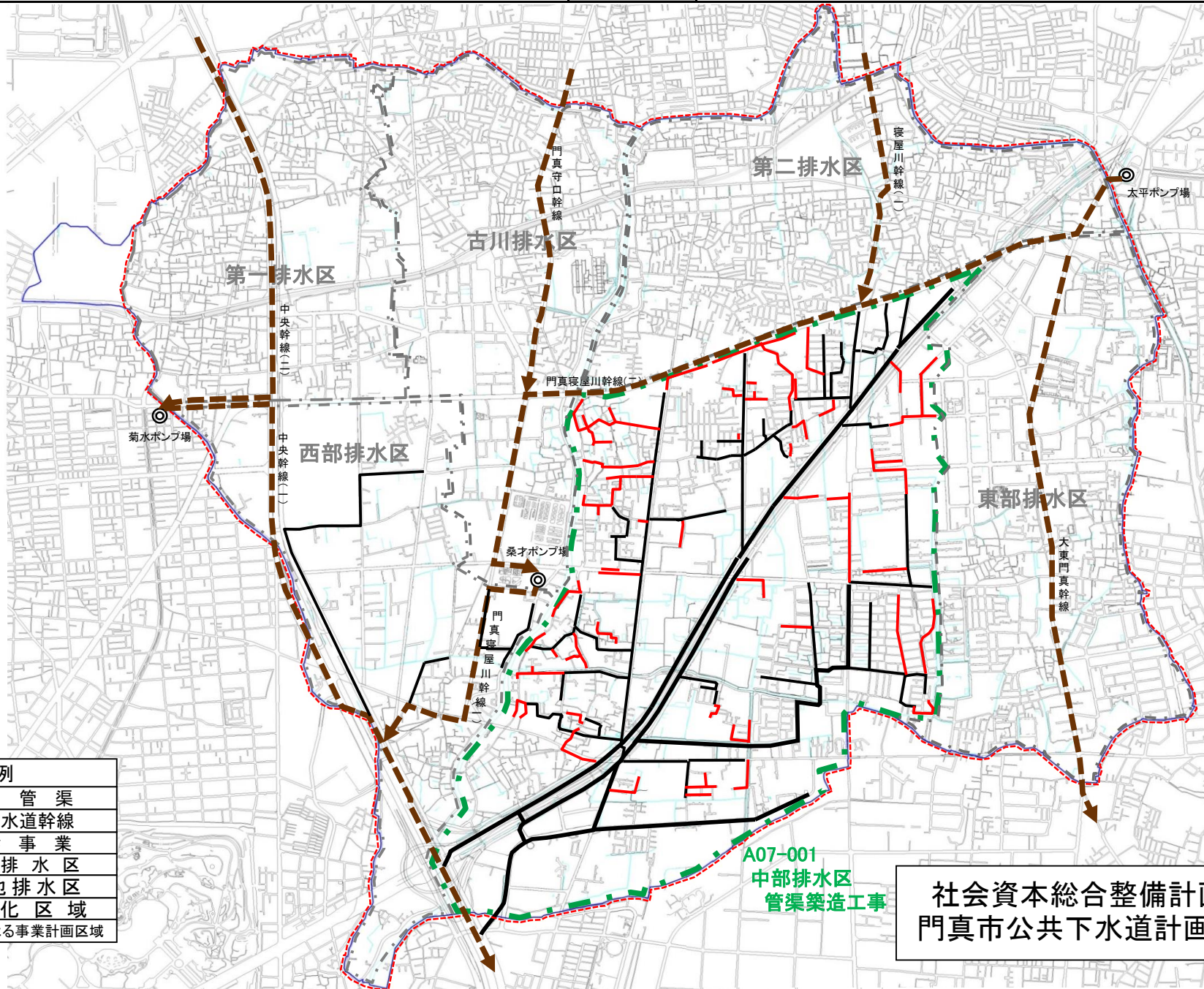
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	
配分額 (a)	601	513	339	239	
計画別流用増△減額 (b)	0	△129	0	0	
交付額 (c=a+b)	601	384	339	239	
前年度からの繰越額 (d)	0	208	66	173	
支払済額 (e)	393	526	232	330	
翌年度繰越額 (f)	208	66	173	82	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	門真市公共下水道事業計画 (重点計画)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	門真市



凡 例	
	既設管渠
	流域下水道幹線
	基幹事業
	中部排水区
	その他排水区
	市街化区域
	下水道法による事業計画区域

社会資本総合整備計画  
門真市公共下水道計画図

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 門真市公共下水道事業計画(重点計画)

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③指標・数値目標分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
⑤十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①全体事業費・要素事業費の額が適切である	○
III. 計画の実現可能性	
②関連する機関との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
③交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○